



塾通信 ひまわり 18号 2024 2月



いつも塾通信をお読みいただきありがとうございます。

いよいよ大学受験では、2月から本格的な一般受験が始まりました。大学入試制度の変更が、テスト問題にも反映されています。特に英語の共通テスト問題の変化が著しいです。つまり、昔は発音問題・並び替え問題・書き換え問題が出題されていましたが、今年はまったく出題されていませんでした。すべて読解問題です。200点満点で、その内訳はリスニングが100点・読解が100点です。内容も日常生活の話が中心でした。英語の勉強方法も見直さなければなりません。

さて、いよいよ高校受験生の諸君は、2月21日（水）の都立学力試験で千葉の私立入試から始まった受験が終わりになります。お疲れさまでした。

3月は、気持ちを新たに高校に向けて準備をしましょう！！



1) 2月の活動報告

(1) 2月9日(金)ドイツ人 Finn くん(21歳)

ドイツ人の Finn 君がホームステイで塾に来ました。彼は、ワーキングホリデーというビザで1年間日本に滞在することができます。このビザは、日本での就労も認められています。留学ビザとの違いは就労ができるかどうかです。海外で働きながら、言語を学びたいのであればワーキングホリデービザを、言語を学ぶだけで良いのであれば留学ビザを取るようになります。

彼は、ワーキングホリデービザのため滞在費を稼ぎながら、日本について学んでいます。

私がびっくりしたのは、日本語をまったく話せないのに一人で日本に来たことです。しかも、宿泊先がホームステイで私の塾です。

すごい行動力ですね。

確かに、今の時代スマホ・パソコンがあれば、翻訳機能や案内もドイツ語・英語などの対応もあります。



しかし、文化・習慣などが異なる外国にスマホ・パソコンだけを頼りに行く勇気は、私にはありません。ちょっと情けないですが・・・

いつも、児童・生徒に「挑戦と行動」と言っていますが、Finn くんをみると、「慎重に」も大事かなと少し思いました。日本は、ほんとに安全で日本人は親切です。このような日本だから、安心して Finn くんのような外国人が来日できるのですね。



外国では、戦争・強盗・生活不安など生きていくことができるかどうかの毎日を過ごしている人がたくさんいます。平和で安心・安全で暮らせる今の日本が、将来も続いて行けるように保護者の皆さんだけではなく、子どもたちも努力していかなければならないと思いました。

(参考：日本国憲法前文)



9日（金）に初めて会った日には、もっと驚きました。

なんと彼は、「明日から仕事に行きます。」というのです。

日本語ができないのに、どんな仕事をするのかと聞いたら、「居酒屋でバイトをする。いろいろな国の外国人が来るお店です。」と言っていました。お金を稼いで、日本各地を旅行するのを楽しみにしているそうです。



Finn 君は、日本に来る前はオーストラリアにワーキングホリデービザで行っていました。オーストラリアは英語が公用語になっていますので、英語ができればあまり心配がないかと思います。

しかし、日本はオーストラリアと言語・文化・習慣が全然違います。全然違う国に、リスク・危険を冒してまで、ヨーロッパの人がどうして日本に来るのか？

日本のアニメ・マンガ・日本のゲームがヨーロッパの若い人には、たいへん人気があるそうです。

アニメ・マンガが日本経済を支えているので、子どもがマンガばかり見ていると批判ができなくなりました。アニメ・マンガをうまく活用する方法を考えなくてはいけない時代ですね。

そして、日本の観光地（箱根・京都・広島・ディズニーランド等）も人気があるそうです。



たいへん長文になって申し訳ございません。まだまだ書くべきことがあるのですが、次回以降に改めてご報告させていただきます。

前号で2月8日（金）イギリス人フレッドがホームステイで来る予定でしたが、ドイツ人Finn くんに変更になりました。

(2)2月10日(土)私立高校入試

私立高校の入試が始まりました。私立高校は、難関校（開成・早稲田・慶應等）以外は3年の2学期の内申点（学校の成績等）でほぼ決まります。受験した塾生全員が当日又は翌日に合格しています。



そのため、受験生は3年2学期の成績を上げることに全力を尽くすことが大事になります。



そして、加点事由として資格が得点されます。その資格として、近年重視されているのが英検です。英検3級で加点1点・準2級で加点2点が多いです。

英検は中学・大学入試でも活用されていますので、中学入試・大学入試をお考えの保護者は、今から子どもに英検の勉強を勧めた方がよろしいと思います。

当塾はこのような英検重視の受験状況の変化に合わせて、英検専用の講座をご用意いたしました。別紙を参照してください。



2)3月の予定

(1)中学2年生以下の児童・生徒

当塾では、4月より新年度が始まります。

3月は新年度の準備として、中学2年生以下の保護者と面談を実施する予定です。内容は、今年度の報告と来年度の内容確認です。質問事項がありましたら、コミルなどでご連絡して頂けると幸いです。



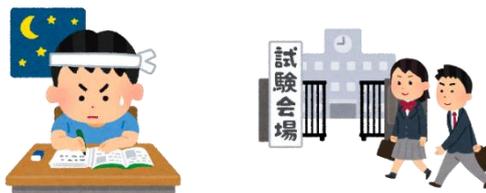
(2)中学3年生

中学3年生は、受験が終わりました。しかし、高校合格は、入学が許可されたに過ぎません。高校入学後の過ごし方が、子どもたちの将来を決定すると言っても言い過ぎではないと思います。

①高校卒業後就職するためには、採用されなければなりません。会社で、働くことは給料をもらうことです。学生のような気分で働いては、給料をもらうことはできません。いい加減に仕事をしたら、辞めさせられてしまいます。そのためには、仕事がきちんとできる能力を高校生の際に身に付けていなければいけません。



②大学進学の場合は高校受験と違って専門学部学科まで決めてから、受験することになります。例えば、早稲田大学の理工学部とスポーツ科学部では学ぶ内容だけではなく通学場所も違います。そのため、高校生の時に自分の専門を何にするかを決めなければなりません。自分の適性や興味を真剣に考え、大学合格の実力をつけていかなければなりません。遊んでいる時間はありません。



そのため、中学3年生の3月は、高校準備として高校の内容を予習して4月からの高校生活がスムーズに進むことを目的として授業を致します。

⇒高校準備講座

内容：数学 I 式の計算

英語 英検対策（フィリピン講師）

高校の課題

(3)高校生

大学受験生は、英検対策2級・準1級の学習
総合選抜など推薦を利用する生徒は、学年末テストが終わったら、過去問研究・大学訪問の日程確認をしてください。

<今月のことば>

ピンチの時に唱えると、心が軽くなる。

「なんとかなる」

「大丈夫」

大学・高校の試験中に、わからない問題が出て頭の中が真っ白になってしまった時、「なんとかなる・大丈夫」と3回心の中で唱えましょう。声を出すと、不正行為として失格となってしまうかもしれないので、心の中で目をつぶって唱えましょう。大丈夫です、困ったことは起こりません